

# 豊かなまちづくりを推進

## 昭和48年度予算のあらまし

### 一般会計は17億6,900万円

## 福祉の充実に取り組み

### 三本の柱で積極施策

昭和四十八年度予算が決まり、スタートしています。予算規模は一般会計十七億六千九百九十九万九千九百九十九円、特別会計七億六千九百九十九万九千九百九十九円、公営企業会計水道事業、取替的収入一億六千九百九十九万九千九百九十九円、同支出一億九千九百九十九万九千九百九十九円、資本的収入一千九百九十九万九千九百九十九円、同支出四千八百八十三万九千九百九十九円となっています。

予算の編成にあたっては、清潔で明るい行政を基本に、人間性豊かな住みよきまちづくりをめざして、三本の柱を重点に組まれています。

わたくしたちの日常生活をよりよくするには、社会経済の発達とともに高度化、複雑化してまいりますが、その中で、地域発展の基盤、生活環境の整備や社会福祉の充実など、市の行政需要はますます増大してきています。

とくに、過密問題をはじめ、都市公害、交通対策など、都市環境の整備面でも追いついた課題を抱えている市では、限られた財源で計画的に効果的に事業を進めていかねばなりません。

この予算の特徴は、福祉事業の拡充がはかられていることです。市独自の老人福祉年金や児童福祉手当、身体障害者の障害者手当の支給事業、ねたきり老人対応のための行政サービス拡充をはかることも、住みよき生活環境の整備を進めるため、三本の柱——暮らしの環境整備、②文化と福祉の充実、③健康を守り高める——を重点に、市のまちづくりの基本構想に基づいて、積極的に、きめ細かな行政で推し進めていきます。

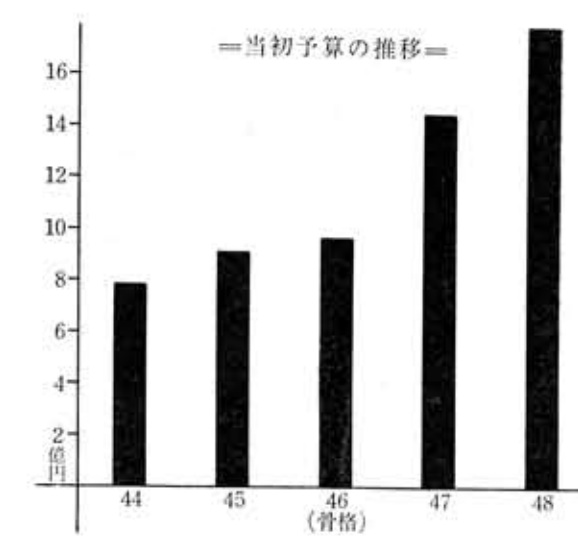
#### 予算の特徴は



① 暮らしの環境整備

② 文化と福祉の充実

③ 健康を守り高める



策、成人病検診の無料化、勤労者のための勤労者住宅資金融資制度の新設など、福祉面の充実に取り組みます。

また、市の下水道事業や勝山(向日町)都市公園などを都市施設の整備、教育施設の整備、生活環境の整備の施策が新しい都市づくりをめざして、もちこまれています。

歳出の構成比は

一般会計

歳出の構成比をみますと、教育費が二・九パーセントとトップで、ついで民生費二〇・七パーセント、総務費二四・〇パーセント、衛生費二二・六パーセント、土木費二二・四パーセントの順に占めています。

また、歳出の性質別うちわけでは、人件費が三三・五パーセント、普通建設事業費二六・三パーセント、物件費二二・五パーセント、補助費九・三パーセント、扶助費・公債費と七・九パーセントとなっています。

とくに、補助費を占めていますが、この原因は、中学校組合、環境衛生組合などの一部事務組合の負担金が含まれているためです。

このように編成したこの予算は、みなさんの身近なところから使っていきます。これら事業のあらまは、つぎのとおりです。

## 学校施設を整える

### 教育費に三億八千八百万円

こどもたちのすこやかな、豊かな人間性を育てる、学校教育では、学校施設の整備と教育環境の向上の充実をはかっています。

向日小学校では、第二校舎木造一階建てが老朽化、八教室を撤去して、鉄筋コンクリート造り二階建て管理棟の改築工事と既存の昇降口を普通教室に転用する、その建設費八千七百八十万円をかけた建設をほかります。

第三向陽小学校では、屋内運動場を建設費四千七百七十万円をかけた建設します。

市民のみみなさんの協力により

四月に開校した、第四向陽小学校では、昭和四十七年度建設分の十教室と昇降口の一部の建設費六千八百一十万円を計上しました。また、水泳プールの建設費千四百五十五万円を、高学年、低学年用のプールにわけ、夏季に使用できるように建設します。

一方、組合中学校では、第二中学校で、管理棟と特別教室の建設工事一億八千万円で、水泳プール建設工事を三千万円で建設します。

ことし四月に開校した第三向陽中学校では、四十七年度建設の六

教室分(普通二、特別四)と屋内運動場の建設など、建設費八千四百七十七万円が見込まれています。また、生徒数の増加に対応して、第四向陽中学校の用地取得のための利息、千九百六十五万円が見込まれています。

このため、中学校組合の予算総額は、四億四千七百五十五万円となり、三市一町の分担金は、億九千九百九十八万円です。

生活と文化の向上をはかる

うるおいのある生活を送るには、健全な文化とスポーツ活動です。

文化の面では、昨年十一月にオープンした向日市民会館を軸として、市民の生活と文化の向上をはかる

文化活動を積極的に進めていきます。とくに、社会教育では、市民会館併設している中央公民館の各



(ことし4月開校した第四向陽小)



(文化の拠点向日市民館)

(公営企業会計)

水道事業	
収益的(収入)	162,112千円
(支出)	193,866千円
資本的(収入)	25,000千円
(支出)	48,834千円
(特別会計)	国保事業
歳入・歳出	245,288千円

一般会計 歳出構成比 (グラフ内数字: %)

その他	2.4
農林水産業・商工費	3.5
消防費	4.6
公債費	7.9
土木費	12.4
衛生費	12.6
総務費	14.0
民生費	20.7
教育費	21.9

## 消防施設を充実

### 消防費

市民のいのちと財産を守る消防では、消防施設整備新五年計画の項目として、消防ポンプ自動車の購入費、百五十万円をはじめ消防司令車の買い替え、防火水槽の新設など、あわせて消防施設費八億六千万円をかけて行なうほか、



(このほど購入した消防司令車)

種講座の充実、各種団体の育成指導など、文化を幅広く育成として、市民会館を軸として、市民の生活と文化の向上をはかる

また、社会教育では、指導者の育成、地域スポーツの振興、各種スポーツ教室の助成をほかり、市民の心身の健全な発達と豊かな生活の充実に取り組んでいきます。

器を取り付け、消防活動方法を